

四半期報告書

(第80期第3四半期)

自 平成20年10月1日
至 平成20年12月31日

はごろもフーズ株式会社

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	5
3 財政状態及び経営成績の分析	5

第3 設備の状況	6
----------	---

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	7
(2) 新株予約権等の状況	7
(3) ライツプランの内容	7
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	7
(5) 大株主の状況	7
(6) 議決権の状況	8

2 株価の推移	8
---------	---

3 役員の状況	8
---------	---

第5 経理の状況	9
----------	---

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	10
(2) 四半期連結損益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	14

2 その他	18
-------	----

第二部 提出会社の保証会社等の情報	19
-------------------	----

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成21年2月13日
【四半期会計期間】	第80期第3四半期（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 溝口 康博
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054) 354-5000
【事務連絡者氏名】	専務取締役サービス本部長 後藤 清雄
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054) 354-5000
【事務連絡者氏名】	専務取締役サービス本部長 後藤 清雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都調布市小島町一丁目32番2号 京王調布小島町ビル2F） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市熱田区神宮四丁目7番27号 宝ビル208号） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番40号 大発京橋ビル305号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第3四半期連結 累計期間	第80期 第3四半期連結 会計期間	第79期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高（千円）	63,170,225	21,667,870	80,091,292
経常利益（千円）	1,330,203	489,820	885,941
四半期（当期）純利益（千円）	757,098	333,713	334,739
純資産額（千円）	—	20,495,365	21,131,680
総資産額（千円）	—	45,151,387	46,193,103
1株当たり純資産額（円）	—	998.50	1,029.36
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	36.88	16.26	16.31
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	—	45.4	45.7
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	256,827	—	2,048,823
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△396,290	—	△702,001
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△242,282	—	△1,489,998
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	1,162,958	1,547,162
従業員数（人）	—	772	778

（注）1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2 売上高は消費税等は含みません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社に異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	772 （195）
---------	-----------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）内に外数で記載しています。

(2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	514
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員です。また、臨時雇用者数（パートタイマー、アルバイト）は従業員数の10%未満のため、記載を省略しています。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における製品群別生産実績は次のとおりです。

製品群		金額（千円）
家庭用食品	ツナ	8,677,847
	デザート	1,197,105
	パスタ&ソース	2,253,560
	総菜	1,291,167
	花かつお・海苔・ふりかけ類	2,307,503
	ギフトセット・その他食品	1,675,333
	計	17,402,518
業務用食品		3,315,474
ペットフード・バイオ他		768,426
合計		21,486,419

- (注) 1 金額は販売価額で表示しています。
 2 生産実績には外注仕入実績を含みます。
 3 上記金額は消費税等を含みません。

(2) 受注状況

当社グループは受注生産を行っていません。

(3) 販売実績

当社グループは主として卸売業者に販売しています。当第3四半期連結会計期間の販売実績は次のとおりです。

製品群		金額（千円）	
製品	家庭用食品	ツナ	9,179,182
		デザート	1,267,267
		パスタ&ソース	2,286,796
		総菜	1,509,325
		花かつお・海苔・ふりかけ類	2,072,646
		ギフトセット・その他食品	1,735,225
		計	18,050,443
	業務用食品		2,685,043
	ペットフード・バイオ他		752,111
	計		21,487,598
その他	不動産賃貸他	180,271	
合計		21,667,870	

- (注) 1 上記金額は消費税等を含みません。

2 主な相手先別の販売実績および総販売実績に対する割合は、次のとおりです。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)
伊藤忠商事(株)	5,445,485	25.1
三井物産(株)	3,818,745	17.6
三菱商事(株)	3,273,182	15.1

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 業績の状況及びキャッシュ・フローの状況

①業績の状況

当第3四半期連結会計期間において、当社グループでは消費者の生活防衛意識が一層高まるなど厳しい経営環境のなか、「キッチンと！」をキーワードに製品の価値を直接消費者にアピールする販売促進活動を実施して需要の喚起に努めました。前期に実施した価格改定の効果や積極的な販売促進企画の展開により、売上高は216億67百万円となりました。主原料のきはだ鮪、かつお価格が想定を下回ったことに加え、諸経費の節減に努めたことにより、営業利益は2億7百万円となりました。㈱マルアイ他の株式取得にともなう負ののれん償却額1億250万円を営業外収益に計上し、経常利益は4億89百万円、四半期純利益は3億33百万円となりました。

製品群別の販売動向は以下のとおりです。

「ツナ」では、販売促進の重点をきはだ鮪製品からシフトしたかつお製品が、好調に推移しました。「デザート」では、輸入フルーツが低調な販売となりましたが、「パスタ&ソース」では、パスタが価格改定効果に加えメニュー提案などの販売促進企画により、好調に推移しました。「総菜」では、「シャキッとコーン」や青魚の「健康」シリーズの販売が低調でした。「花かつお・海苔・ふりかけ類」では、かつおパックを中心に販売促進機会が増加し好調な販売となりました。「ギフトセット・その他食品」では、総じて加工食品ギフトの需要が低迷したこともありギフトの販売が振るわず、「業務用食品」では、主力のツナ、フルーツ缶詰、コーン缶詰などの外食向けの販売が低調でした。「ペットフード・バイオ他」では、国産ペットフードの販売が順調に推移しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、第2四半期連結会計期間末に比べ5億21百万円減少し、11億62百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間の営業活動により減少した資金は20億38百万円となりました。これは、主に売上債権の増加や仕入債務の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間の投資活動により減少した資金は1億36百万円となりました。これは、主に固定資産の取得によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結会計期間の財務活動により増加した資金は16億54百万円となりました。これは、主に短期借入金の純増によるものです。

(2) 対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は64,309千円です。なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、重要な設備の新設、除却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	—	20,650,731	—	1,441,669	—	942,292

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握していません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

① 【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 124,000	—	単元株式数1,000株
完全議決権株式（その他）	普通株式 20,399,000	20,399	同上
単元未満株式（注）	普通株式 127,731	—	1単元（1,000株）未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	—	—
総株主の議決権	—	20,399	—

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式214株が含まれています。

② 【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
（自己保有株式） はごろもフーズ株式会社	静岡県静岡市 清水区島崎町151	124,000	—	124,000	0.60
計	—	124,000	—	124,000	0.60

（注）第3四半期会計期間末日現在の自己株式数は124,614株です。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（円）	927	900	951	1,040	1,030	1,050	965	930	1,020
最低（円）	882	880	876	925	979	958	849	890	899

（注）最高・最低株価は東京証券取引所市場第二部におけるものです。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）にもとづいて作成しています。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）および当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,162,958	1,547,162
受取手形及び売掛金	※2 17,091,756	13,816,662
商品	63,340	75,977
製品	4,442,117	5,744,361
半製品	289,110	383,469
原材料	3,250,351	3,342,458
仕掛品	202,475	193,098
その他	1,574,390	1,971,096
貸倒引当金	△30,364	△18,697
流動資産合計	28,046,136	27,055,589
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,937,784	4,946,334
その他(純額)	5,565,194	5,910,107
有形固定資産合計	※1 10,502,979	※1 10,856,442
無形固定資産		
投資その他の資産	340,112	354,961
投資有価証券	5,901,533	7,553,506
その他	379,697	397,754
貸倒引当金	△19,070	△25,150
投資その他の資産合計	6,262,160	7,926,110
固定資産合計	17,105,251	19,137,513
資産合計	45,151,387	46,193,103
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,501,918	13,840,160
短期借入金	2,531,660	2,081,660
未払金	2,650,024	3,498,989
未払法人税等	362,036	143,408
販売促進引当金	1,396,323	67,327
その他の引当金	422,944	488,608
その他	854,113	590,473
流動負債合計	21,719,021	20,710,627
固定負債		
長期借入金	386,680	768,340
退職給付引当金	378,558	348,877
役員退職慰労引当金	494,541	476,559
負ののれん	629,522	1,007,236
その他	1,047,698	1,749,781
固定負債合計	2,937,000	4,350,794
負債合計	24,656,022	25,061,422

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,512	942,549
利益剰余金	16,860,403	16,411,221
自己株式	△123,385	△120,716
株主資本合計	19,121,199	18,674,723
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,860,277	2,867,694
繰延ヘッジ損益	△116,834	△89,264
為替換算調整勘定	△369,276	△321,472
評価・換算差額等合計	1,374,166	2,456,956
純資産合計	20,495,365	21,131,680
負債純資産合計	45,151,387	46,193,103

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	63,170,225
売上原価	43,615,811
売上総利益	19,554,413
販売費及び一般管理費	※ 19,154,623
営業利益	399,790
営業外収益	
受取利息	648
受取配当金	161,406
負ののれん償却額	377,713
持分法による投資利益	49,587
受取手数料	265,743
その他	209,584
営業外収益合計	1,064,683
営業外費用	
支払利息	18,269
その他	116,001
営業外費用合計	134,270
経常利益	1,330,203
特別利益	
貸倒引当金戻入額	68
固定資産売却益	2,613
投資有価証券売却益	72
補助金収入	11,503
受取補償金	7,212
特別利益合計	21,469
特別損失	
貸倒引当金繰入額	1,896
固定資産除却損	46,789
固定資産売却損	2,654
投資有価証券売却損	24
ゴルフ会員権評価損	2,020
製品回収関連費用	96,669
特別損失合計	150,054
税金等調整前四半期純利益	1,201,618
法人税等	444,520
四半期純利益	757,098

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	21,667,870
売上原価	14,805,264
売上総利益	6,862,606
販売費及び一般管理費	※ 6,655,333
営業利益	207,272
営業外収益	
受取利息	161
受取配当金	48,647
負ののれん償却額	125,904
持分法による投資利益	40,863
受取手数料	65,953
その他	38,358
営業外収益合計	319,888
営業外費用	
支払利息	3,871
その他	33,470
営業外費用合計	37,341
経常利益	489,820
特別利益	
貸倒引当金戻入額	△72
固定資産売却益	913
補助金収入	11,503
特別利益合計	12,344
特別損失	
貸倒引当金繰入額	1,896
固定資産除却損	5,630
固定資産売却損	2,654
投資有価証券売却損	24
ゴルフ会員権評価損	2,020
製品回収関連費用	20,862
特別損失合計	33,088
税金等調整前四半期純利益	469,075
法人税等	135,361
四半期純利益	333,713

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,201,618
減価償却費	598,596
負ののれん償却額	△377,713
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,587
その他の引当金の増減額 (△は減少)	1,310,995
受取利息及び受取配当金	△162,055
支払利息	18,269
為替差損益 (△は益)	2,803
持分法による投資損益 (△は益)	△49,587
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,275,093
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,491,376
仕入債務の増減額 (△は減少)	△338,241
未払金の増減額 (△は減少)	△736,699
その他	639,362
小計	329,218
利息及び配当金の受取額	160,335
利息の支払額	△17,848
法人税等の支払額	△214,878
営業活動によるキャッシュ・フロー	256,827
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△321,184
投資有価証券の取得による支出	△17,659
貸付けによる支出	△850
貸付金の回収による収入	6,459
その他	△63,055
投資活動によるキャッシュ・フロー	△396,290
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	450,000
長期借入金の返済による支出	△381,660
自己株式の処分による収入	557
自己株式の取得による支出	△3,263
配当金の支払額	△307,916
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,457
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△384,203
現金及び現金同等物の期首残高	1,547,162
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 1,162,958

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
会計処理基準に関する事項の変更	<p>重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 (棚卸資産)</p> <p>通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、主として月次総平均法による低価法によっていましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたこととともない、主として月次総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しています。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益は、それぞれ16,604千円増加しています。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1. 棚卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。
2. 固定資産の減価償却費の算定方法	減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。
3. 販売奨励金の算定方法	当社の未払い販売奨励金の一部は、販売数量を基礎とした合理的な方法により算定し、販売促進引当金として計上しています。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
税金費用の計算	<p>税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。</p> <p>なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しています。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額 18,622,906千円	※1 有形固定資産の減価償却累計額 18,317,316千円
※2 当四半期連結会計期間末日満期手形 当四半期連結会計期間末日の満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しています。 なお、当四半期連結会計期間の末日は金融機関の休日であったため、次の満期手形が当四半期連結会計期間末日の残高に含まれています。 受取手形 170,606千円	—————

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要なもの
販売奨励金 10,187,660千円
販売促進引当金繰入額 1,396,323千円
荷造運賃 1,740,091千円
給料手当 1,365,476千円

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
※ 販売費及び一般管理費のうち主要なもの
販売奨励金 3,729,607千円
荷造運賃 583,889千円
給料手当 450,846千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在)
現金及び預金勘定 1,162,958千円
現金及び現金同等物 1,162,958千円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

1 発行済株式の種類及び総数

普通株式 20,650,731株

2 自己株式の種類及び株式数

普通株式 124,614株

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

配当金支払額

(1)平成20年6月27日の第79期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 153,967千円

(ロ) 1株当たり配当額 7円50銭

(ハ) 基準日 平成20年3月31日

(ニ) 効力発生日 平成20年6月30日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

(2)平成20年11月10日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額 153,948千円

(ロ) 1株当たり配当額 7円50銭

(ハ) 基準日 平成20年9月30日

(ニ) 効力発生日 平成20年12月8日

(ホ) 配当の原資 利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

当社および連結子会社は、食品事業を主な事業内容としており、当該事業区分の連結売上高および営業利益の金額は、いずれも全セグメントに占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

本邦以外の国に所在する連結子会社および重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)

その他有価証券で時価のあるものが、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

	取得原価 (千円)	四半期連結貸借対照表 計上額(千円)	差額 (千円)
株式	2,214,647	5,301,173	3,086,526
合計	2,214,647	5,301,173	3,086,526

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末において、デリバティブ取引には、すべてヘッジ会計を適用しているため、記載すべき事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	998.50円	1株当たり純資産額	1,029.36円

2 1株当たり四半期純利益金額

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	36.88円	1株当たり四半期純利益金額	16.26円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載していません。		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、 潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期純利益(千円)	757,098	333,713
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	757,098	333,713
期中平均株式数(株)	20,527,413	20,526,354

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成20年11月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ) 中間配当による配当金の総額 153,948千円

(ロ) 1株当たりの金額 7円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成20年12月8日

(注) 平成20年9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いをしています。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月3日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員
業務執行社員 公認会計士 吉澤 秀雄 (印)

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山本 英俊 (印)

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。